

Dell SE2716H モニター ユーザーガイド

モデル番号: SE2716H
規制モデル: SE2716Ht





注意: 注意は、コンピューターのより良い使用を助けるための重要な情報を示します。



警告: 警告は、もし指示に従わない場合は、ハードウェアに対する損傷またはデータ損失が
起こりうることを示します。



危険: 危険は器物損壊、怪我、死亡に繋がる可能性を示します。

Copyright © 2015-2016 Dell Inc. All rights reserved. 本製品は米国および国際的な著作権
法および知的財産法で保護されています。

Dell™およびDellのロゴは、米国および/またはその他の地域におけるDell Inc.の商標です。こ
こに記載されているその他のマークおよび名称は、各社の商標である場合があります。

内容

お使いのモニターについて	5
パッケージの内容	5
機能	6
部品とコントロール	7
仕様	9
プラグアンドプレイ	17
LCDモニター品質とピクセルポリシー	17
モニターの設定	18
スタンドの取り付け	18
モニターの接続	20
まとめケーブル	22
モニタースタンドの取り外し	22
モニターの操作	23
モニターの電源を入れる	23
フロントパネルコントロールの使用	23
オンスクリーンディスプレイ(OSD)メニューの使用	25
傾斜を使用する	39
トラブルシューティング	40
セルフテスト	40
ビルトイン診断	41
共通の問題	42

製品固有の問題	44
モバイル高品位リンク(MHL)に特有の問題	45
スピーカー固有の問題	45
付録	46
安全上の注意	46
FCC通知(米国のみ)およびその他規制情報	46
Dellに連絡	46
モニタのセットアップ	47
お手入れのガイドライン	49

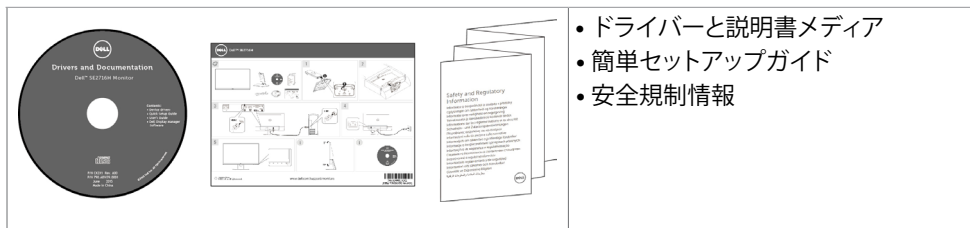
お使いのモニターについて

パッケージの内容

モニターは下記で示されるコンポーネントが同梱されています。すべてのコンポーネントが含まれていることを確認し、何か足りない場合には[Dellにご連絡](#)ください。

注意: 一部の品目はオプションで、モニターには同梱されていないことがあります。ご使用の国によっては、一部の機能またはメディアが利用できないことがあります。

	モニター
	スタンドライザー
	スタンド台
	電源ケーブル(国によって異なります)
	HDMIケーブル



- ドライバーと説明書メディア
- 簡単セットアップガイド
- 安全規制情報

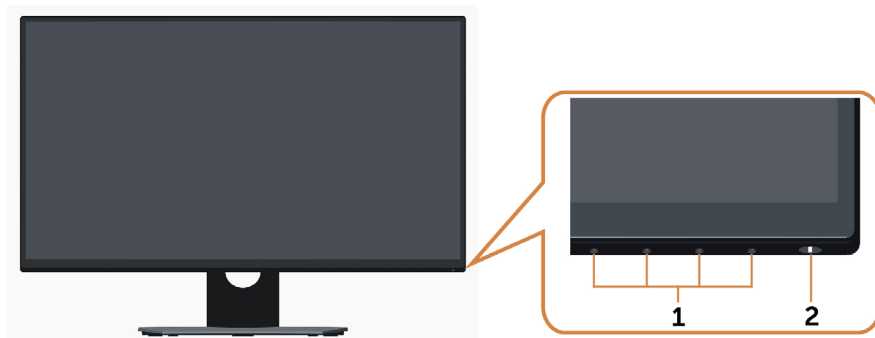
機能

Dell SE2716H 曲面型モニターは、アクティブマトリックス、薄膜トランジスタ (TFT)、液晶ディスプレイ (LCD)、発光ダイオード (LED) バックライトを搭載しています。モニターの特徴は次のとおりです。

- 68.58cm (27インチ) 表示可能領域のディスプレイ (対角で測定)。解像度 1920 x 1080。それ以下の解像度に対してはフルスクリーン対応。
- 広視野角により、座った姿勢、立った姿勢、あるいは左右に動きながらも画面を鑑賞できます。
- メガダイナミックコントラスト比 (8,000,000:1)。
- チルト機能。
- 超薄型ベゼルが、マルチモニター使用時のベゼルギャップを最小限に抑え、簡単な設定をするだけでスマートな視聴体験を楽しめます。
- HDMI (MHL) は、スマートフォン、DVD プレイヤー、ゲーム用コンソールなどの二次装置にシームレスな接続性を提供します。
- 着脱式スタンド台。
- アセットマネージメント機能。
- 色域 85% (標準値)。
- 簡単設定と画面の最適化を可能にするオンスクリーンディスプレイ (OSD) 調整。
- ソフトウェアおよび説明書メディアには情報ファイル (INF)、画像カラーマッチングファイル (ICM)、製品説明書が含まれます。
- Dellディスプレイマネージャーソフトウェア (モニターに同梱されたディスクから利用可能)。
- セキュリティロック スロット。
- 画像品質を維持したまま、広画面比率から標準画面比率にスイッチすることが可能。
- BFR/PVC低減。
- TCO認定ディスプレイ。
- ヒ素を含まないガラスと水銀を含まないパネル (のみ)。
- スリープモード時には0.3 Wの待機電力。
- エネルギーゲージには、モニターが消費しているエネルギーレベルがリアルタイムで表示されます。
- ちらつきのないディスプレイのためのアナログバックライト調光制御。

部品とコントロール

前面ビュー



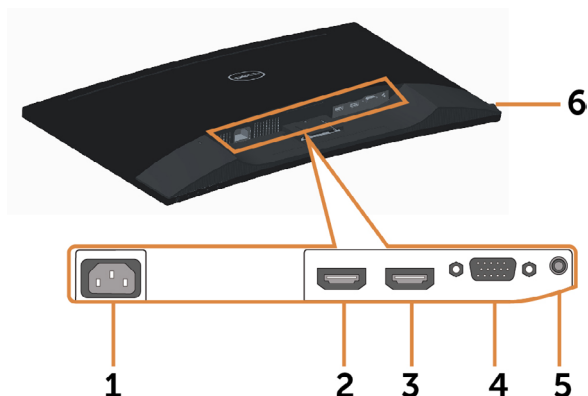
ラベル	説明
1	ファンクションボタン (詳細は モニターの操作 を参照ください)
2	電源オン/オフボタン (LEDランプあり)

背面ビュー



ラベル	説明	目的
1	セキュリティロックスロット	モニターを固定するために、セキュリティロックを使用します (別売)。
2	バーコード、シリアル番号、サービスタグラベル	技術サポートを受けるためにDellに連絡する際に、このラベルを参照します。
3	規制ラベル	規制承認をリストします。
4	エッチング文字	規制承認をリストします。
5	ケーブル管理スロット	スロットを通して配置することで、ケーブルをまとめるために使用します。

底面ビュー



ラベル	説明	目的
1	AC電源コードコネクタ	電源ケーブルを接続してください。
2	HDMI (MHL) 1ポート	HDMIケーブルを使用してコンピューターに接続、またはMHLケーブル(オプション)を使用してMHLデバイスに接続します。
3	HDMI (MHL) 2ポート	HDMIケーブルを使用してコンピューターに接続、またはMHLケーブル(オプション)を使用してMHLデバイスに接続します。
4	VGAポート	VGAケーブル(オプション)を使用してコンピューターに接続します。
5	オーディオ入力ポート	コンピューターのオーディオ出力(オプション)に接続します。
6	ヘッドフォン用ポート	⚠危険: イヤホンやヘッドホンからの過剰な音圧は、聴覚の損傷や難聴の原因となります。

仕様

パネル

スクリーンタイプ	アクティブマトリクス - TFT LCD
パネルタイプ	垂直方向の配置
パネル曲率	半径4000 mm
表示可能画像:	
対角	68.58cm (27インチ)
アクティブ領域:	
水平	597.36mm (23.52インチ)
垂直	336.31mm (13.24インチ)
領域	200,898.14mm ² (311.40インチ ²)
ピクセルピッチ	0.3114 mm x 0.3114 mm
視野角:	
水平	178°標準値
垂直	178°標準値
輝度出力	300 cd/m ² (標準値)
コントラスト比	3000:1 (標準値) 8,000,000:1 (メガダイナミック コントラスト使用)
表面コート	AGタイプ、ヘイズ2.3%、ハードコーティング(2H)
バックライト	白色 LEDエッジスリム・バックライト
応答時間	高速モード: 中間階調応答速度6ms (標準値) ノーマルモード: 中間階調応答速度8ms (標準値)
色深度	167万色
色域	85% (標準値)*

*注意: SE276H色域(標準値)はCIE1976(85%)とCIE1931(72%)テスト標準に基づく。

解像度の仕様

水平スキャン範囲	30 kHzから83 kHz (自動)
垂直スキャン範囲	56 Hzから76 Hz (自動)
事前設定の最高解像度	1920×1080、60Hz
ビデオ表示機能(VGAとHDMIとMHL再生)	480i、480p、576i、576p、720p、1080i、1080p

プリセットディスプレイモード

ディスプレイモード	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)	ピクセルクロック (MHz)	同期極性 (水平/垂直)
VESA, 720 x 400	31.5	70.0	28.3	-/+
VESA, 640 x 480	31.5	60.0	25.2	-/-
VESA, 640 x 480	37.5	75.0	31.5	-/-
VESA, 800 x 600	37.9	60.0	40.0	+/+
VESA, 800 x 600	46.9	75.0	49.5	+/+
VESA, 1024 x 768	48.4	60.0	65.0	-/-
VESA, 1024 x 768	60.0	75.0	78.8	+/+
VESA, 1152 x 864	67.5	75.0	108.0	+/+
VESA, 1280 x 1024	64.0	60.0	108.0	+/+
VESA, 1280 x 1024	80.0	75.0	135.0	+/+
VESA, 1600 x 1200	75.0	60.0	162.0	+/+
VESA, 1920 x 1080	67.5	60.0	148.5	+/+

MHLソース表示モード

ディスプレイモード	周波数 (Hz)
640 x 480p	60
720 x 480p	60
720 x 576p	50
720 (1440) x 480i	60
720 (1440) x 576i	50
1280 x 720p	60
1280 x 720p	50
1920 x 1080i	60
1920 x 1080i	50
1920 x 1080p	30
1920 x 1080p	60
1920 x 1080p	50

電氣的仕様

ビデオ入力信号	<ul style="list-style-type: none">アナログRGB、0.7 V +/-5%、正極性、75オーム入力インピーダンスHDMI 1.4 (MHL 2.0)、600mV for 各微分直線、正極性100オーム入力インピーダンス
同期入力信号	水平/垂直分離同期、極性自由TTLレベル、SOG (緑信号に複合同期信号)
AC 入力電圧/周波数/電流	100 VAC~240 VAC / 50 Hzまたは60 Hz ± 3 Hz / 1.5 A (最大)
突入電流	0 °Cで (コールドスタート)120 V:30 A (最大.) 0 °Cで (コールドスタート)240 V:60 A (最大.)

スピーカーの仕様

スピーカーの定格出力	2 x (3 W + 6 W)
周波数応答	100 Hz - 20 kHz
インピーダンス	8 ohm

物理特性

コネクタータイプ	<ul style="list-style-type: none">15ピンD-subミニ、黒コネクターHDMI (MHL) 1/HDMI (MHL) 2オーディオ入力ヘッドフォン出力
シグナルケーブルタイプ	<ul style="list-style-type: none">デジタル:取り外し可能, HDMI, 19 ピンデジタル:取り外し可能, MHL, 19 ピンアナログ:取り外し可能, VGA, 15 ピン
寸法(スタンドあり):	
高さ	457.79mm (18.02インチ)
幅	616.50mm (24.27インチ)
奥行き	176.15 mm (6.94インチ)
寸法(スタンドなし):	
高さ	366.20mm (14.42インチ)
幅	616.50mm (24.27インチ)
奥行き	71.28mm (2.81インチ)
スタンド寸法:	
高さ	182.84mm (7.20インチ)
幅	290.39mm (11.43インチ)
奥行き	176.15mm (6.94インチ)
重量:	

パッケージ含む	8.0kg (17.64ポンド)
組み立てスタンドとケーブル含む	6.26kg (13.80ポンド)
スタンド、ケーブルなし (ケーブルなし)	4.96kg (10.93ポンド)
組み立てスタンドの	1kg (2.2ポンド)
フロントフレーム光沢	>85%

環境特性

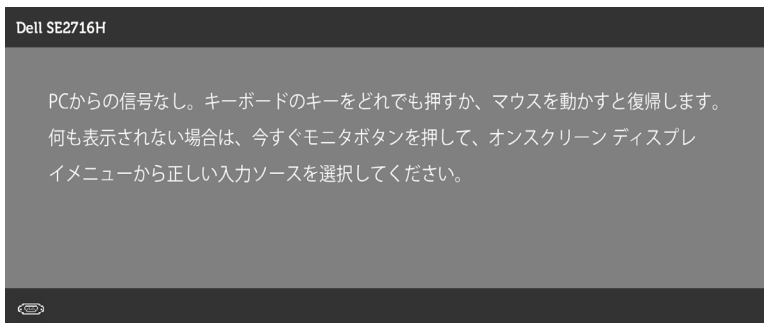
温度:	
動作	0°C to 40°C (32°F to 104°F)
非動作	-20°C to 60°C (-4°F to 140°F)
湿度:	
動作	10%から80% (結露なし)
非動作	5%から90% (結露なし)
高度:	
動作	最高5,000m (16,404フィート)
非動作	最高12,192m (4万フィート)
熱出力	<ul style="list-style-type: none"> 211.55BTU/時(最大) 98.95BTU/時(標準値)

電源管理モード

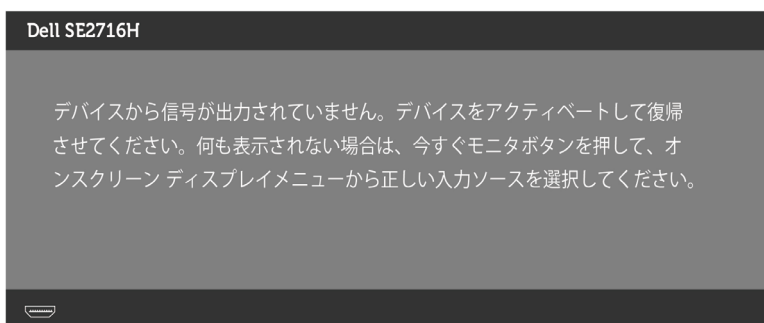
お使いのコンピューターにVESAのDPM準拠ディスプレイカードまたはソフトウェアがインストールされている場合、モニターが使用中でないときには、自動的に消費電力を低減します。これは電源セーブモードです*。コンピューターがキーボード、マウス、その他の入力デバイスからの入力を検出すると、モニターは自動的に機能を再開します。次の表は消費電力と省電力モードの信号を示しています。

VESAモード	水平同期	垂直同期	ビデオ	電源ランプ	消費電力
通常動作	アクティブ	アクティブ	アクティブ	白	62W (最大) ** 29W (通常)
アクティブオフモード	無効	無効	オフ	ブリージング ホワイト (ゆっくりと 点滅)	0.3W未満
スイッチオフ	-	-	-	オフ	0.3W未満

OSDは通常動作モードでのみ機能します。アクティブ-オフモードのときに任意のボタンを押すと、次のメッセージが表示されます。



または



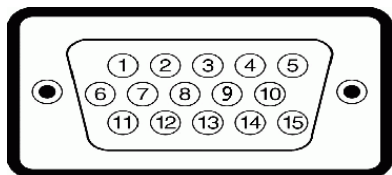
*OFFモードのゼロ消費電力は、モニターから電源ケーブルを抜いた場合のみ達成できます。

**最大消費電力は最大輝度を測定され。

OSDにアクセスするためにコンピューターとモニターをアクティブにします。

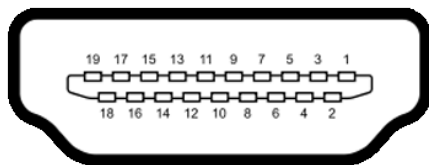
ピン割当

VGAポート



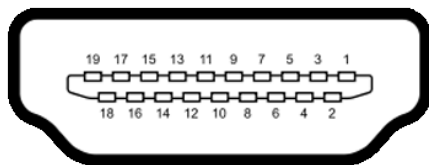
ピン番号	接続された信号ケーブルの15ピン側
1	ビデオ赤
2	ビデオ緑
3	ビデオ青
4	GND
5	セルフテスト
6	GND-R
7	GND-G
8	GND-B
9	コンピューター5V/3.3V
10	GND-sync
11	GND
12	DDCデータ
13	H-sync
14	V-sync
15	DDCクロック

HDMIポート



ピン番号	接続された信号ケーブルの19ピン側
1	TMDSデータ2+
2	TMDSデータ2シールド
3	TMDSデータ2-
4	TMDSデータ1+
5	TMDSデータ1シールド
6	TMDSデータ1-
7	TMDSデータ0+
8	TMDSデータ0シールド
9	TMDSデータ0-
10	TMDSクロック+
11	TMDSクロックシールド
12	TMDSクロック-
13	CEC
14	使用不可(デバイス無接続)
15	DDCクロック(SCL)
16	DDCデータ(SDA)
17	DDC/CECグラウンド
18	+5V電源
19	ホットプラグ検出

MHLポート



ピン番号	接続された信号ケーブルの19ピン側
1	N/C
2	CD_SENSE
3	N/C
4	N/C
5	TMDS_GND
6	N/C
7	MHL+
8	MHL_シールド
9	MHL-
10	N/C
11	TMDS_GND
12	N/C
13	N/C
14	N/C
15	CD_PULLUP
16	N/C
17	VBUS_CBUS_GND
18	VBUS
19	CBUS
シェル	シールド

プラグアンドプレイ

任意のプラグアンドプレイ互換コンピューターにモニターをインストールすることができます。モニターは自動的にディスプレイデータチャンネル (DDC) プロトコルを使用したコンピューターに、拡張ディスプレイ識別子データ (EDID) を提供し、コンピューターは自身を構成し、モニター設定を最適化します。ほとんどのモニターのインストールは自動です。希望があれば、別の設定を選択できます。モニターの設定で、モニター設定変更についての詳細情報が必要な場合には、[モニターの操作](#)を参照ください。

LCDモニター品質とピクセルポリシー

LCDモニター製造プロセスでは、1つ以上のピクセルが不変状態で固定されてしまうことは珍しくありません。これらは確認することは難しく、ディスプレイの品質や使いやすさには影響しません。Dellモニター品質とピクセルポリシーについての詳細は、www.dell.com/support/monitorsを参照ください。

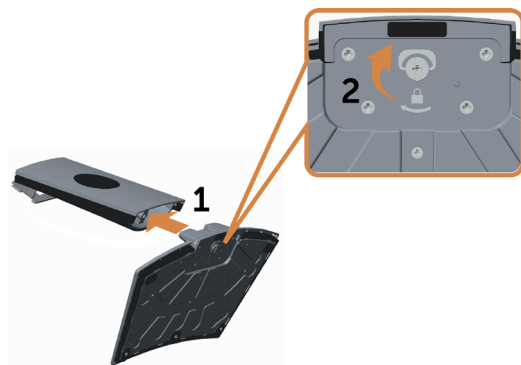
モニターの設定

スタンドの取り付け

- 📌 **注意:** 工場からモニターが出荷される際には、スタンドライザーとスタンド台は取り外されています。
- 📌 **注意:** 付属スタンドを取り付けるには、以下の手順を実行します。他のスタンドを購入された場合は、スタンドに付属された説明書を参照してください。
- ⚠ **警告:** モニターが地面に対して上向きあるいは下向きである場合は、圧力を加えないようにしてください。

スタンドライザーをスタンド台に接続します。

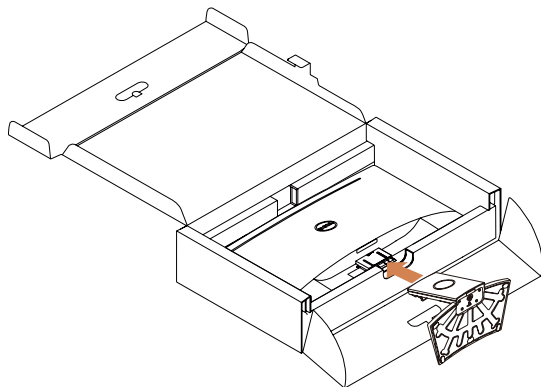
- 1 スタンドライザーをスタンド台に取り付けます。
- 2 スタンド台の下のつまみネジを締めます。



モニタースタンドを取り付けるには。

- 1 開ける前に外箱を床面に水平に置きます。
- 2 外箱の上部からペーパークッションをはがします。
- 3 モニター裏面の穴に、スタンドの上部にあるタブ2つを挿入します。
- 4 スタンドが所定の位置にはめ込まれるまで押します。

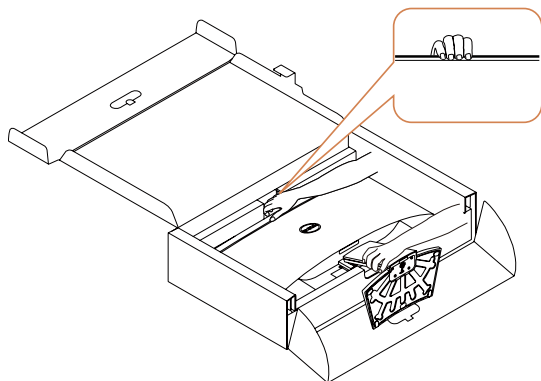
△ 警告：ペーパークッションがない場合は、厚型のシッティングマットをお使いください。



モニターをまっすぐに設置します。

- 1 下側のクッションの切り込み口に片手を差し込み、もう片方の手でスタンドをつかみます。
- 2 モニターが滑ったり、落ちたりしないように、そっと持ち上げてください。
- 3 モニターから保護カバーを外します。

△ 警告：モニターを持ち上げるときには、パネルスクリーンを強く押さないようにしてください。



モニターの接続

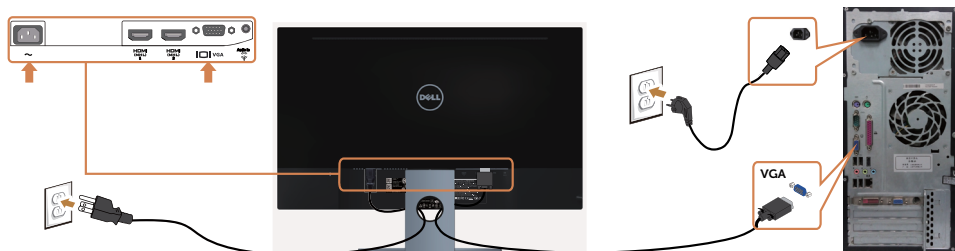
⚠ 危険: このセクションの手順を始める前に、**安全上の注意**に従ってください。

モニターをコンピュータに接続するには:

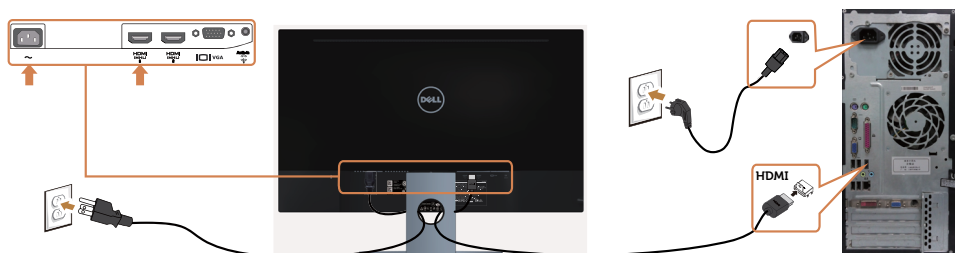
- 1 コンピュータの電源を切ってください。
- 2 モニターとコンピュータをVGA/HDMI/オーディオケーブルで接続します。
- 3 コンピュータの電源を入れてください。

📌 注意: 同じコンピュータに複数のディスプレイケーブルを接続しないでください。

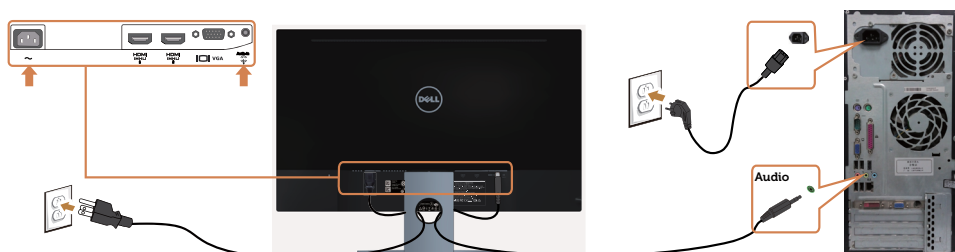
VGAケーブルの接続(オプション)







HDMIケーブルの接続



オーディオケーブルの接続(オプション)



モバイル高品位リンク(MHL)を使用する

-  **注意:** このモニターはMHL認定されています。
-  **注意:** MHL機能を使用するには、MHL認定されたケーブルと、MHL出力に対応しているソースデバイスのみを使用します。
-  **注意:** MHLソースデバイスによっては、画像が表示されるまで数秒以上かかることがあります。
-  **注意:** 接続されたMHLソースデバイスがスタンバイモードに入ると、モニターの画面が黒くなるか、MHLソースデバイスの出力に応じて以下のメッセージを表示します。



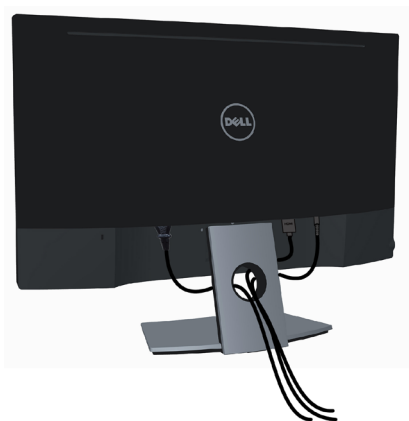
MHL接続を有効にするには、以下の手順を実行してください。

- 1 お使いのモニターの電力ケーブルをAC出力に差し込んでください。
- 2 MHL認定ケーブルを使用して、MHLソースデバイスの(マイクロ)USBポートとモニターのHDMI(MHL)ポートを接続します(詳細は[底面図](#)を参照)。
- 3 モニターとMHLソースデバイスをオンにします。



- 4 OSDメニューを使用して、モニターの入力ソースをHDMI(MHL)にします(詳細については[オンスクリーンディスプレイ\(OSD\)メニューの使用](#)を参照)。
- 5 モニターに画像が表示されない場合には、[モバイル高品位リンク\(MHL\)特有の問題](#)を参照ください。

まとめケーブル



すべての必要なケーブルをモニターとコンピューターに接続後、(ケーブルの接続については、[モニターの接続](#)を参照) すべてのケーブルを上図のように整理します。

モニタースタンドの取り外し

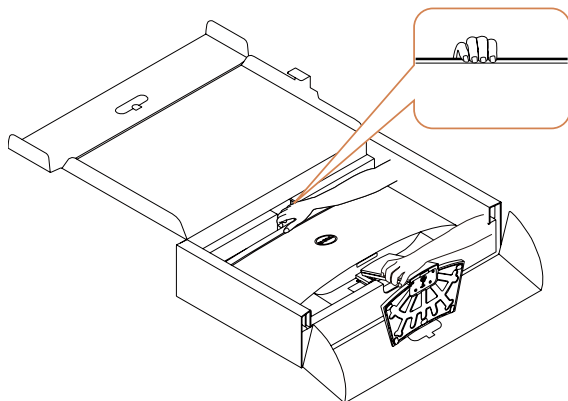
△ **警告:** スタンドを外す時に液晶画面に傷つかないように、モニターは必ず柔らかく清潔なフォームの上に置いてください。固い物体に直接接触すると、曲面型モニターが損傷する場合があります。

🔧 **注意:** 付属スタンドを取り付けるには、以下の手順を実行します。他のスタンドを購入された場合は、スタンドに付属された説明書を参照してください。

スタンドを取り外す。

- 1 モニターはペーパークッションあるいは厚型のシッティングマットの上に置いてください。
- 2 ねじ回しを使用し、解除ボタンを押えます。
- 3 スタンドを取り外す場合、矢印の方向にスタンドネックを引きます。

△ **警告:** ペーパークッションがない場合は、厚型のシッティングマットをお使いください。



モニターの操作

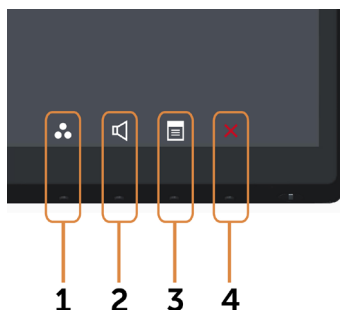
モニターの電源を入れる

🔌 ボタンを押してモニターをオンにする。




フロントパネルコントロールの使用

表示されている画像の特性を調整するには、モニターの前面にあるコントロールボタンを使用します。これらのボタンを使用してコントロールを調整するとき、OSDには変更される特性の数値が表示されます。



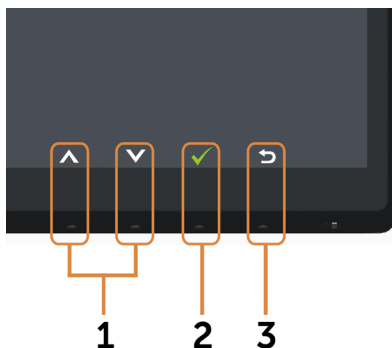
次の表は、前面パネルのボタンを説明しています。





フロント-パネルボタン	説明
1  ショートカットキー： プリセットモード	このボタンを使用して、プリセットカラーモードの一覧から選択することができます。

フロント-パネルボタン	説明
2  ショートカットキー： 音量	音量レベルバーに直接アクセスするには、このボタンを使用します。
3  メニュー	このボタンを使用して、オンスクリーンディスプレイ (OSD) を起動し、OSDでオプションを選択します。 メニューシステムにアクセス を参照ください。
4  終了	このボタンを使用して、メインメニューに戻ったり、OSDメインメニューを終了します。

フロント-パネルボタン

画像の設定を調整するには、モニターの前面にあるボタンを使用します。




フロント-パネルボタン	説明
1  上  下	上 (増加) と下 (減少) キーを使用して、OSDメニューの項目を調整します。
2  OK	選択を確定するにはOKキーを使用します。
3  戻る	前のメニューに戻るには、戻るキーを使用します。

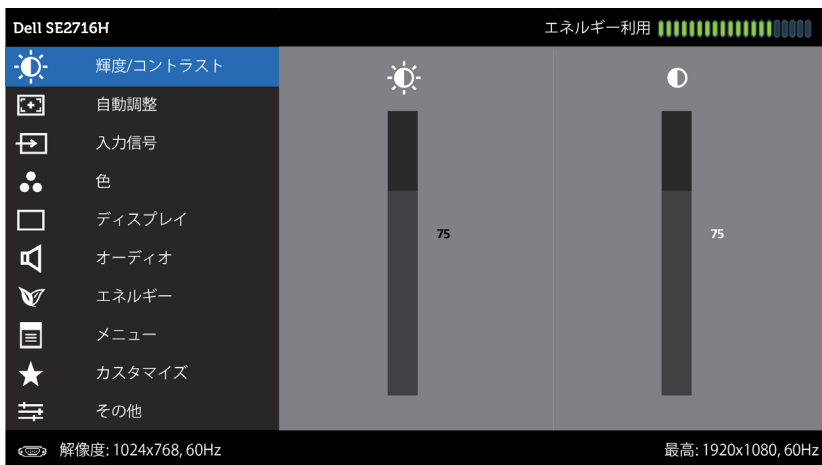
オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューの使用

メニューシステムにアクセス

注意: 別のOSDメニューに移動、OSDメニューを終了、またはOSDメニューが消えるのを待つと、OSDメニューを使用して行った任意の変更は、自動的に保存されます。

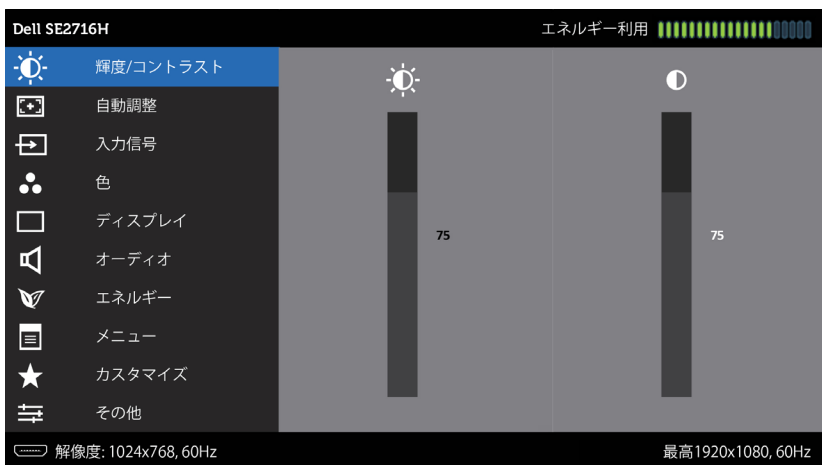
1 OSDメニューを起動し、メインメニューを表示するには、 ボタンを押します。

VGA入力のメインメニュー



または

HDMI (MHL) 1/HDMI (MHL) 2入力のメインメニュー



- 2 ▲と▼ ボタンを押して、オプション間を移動します。別のアイコンに移動すると、オプション名がハイライトされます。
- 3 → または ✓ ボタンを1回押して、ハイライトしたオプションをアクティブにします。
- 4 希望のパラメーターを選択するには ▲と▼ ボタンを押します。
- 5 → ボタンを押してサイドバーに入り、メニューの表示ランプに応じて、▲ または ▼ ボタンを使用して変更します。
- 6 メインメニューに戻り別のオプションを選択するには ↶ ボタンを1回押します。また、✖ ボタンを2、3回押すと、OSDメニューが終了します。

アイコン

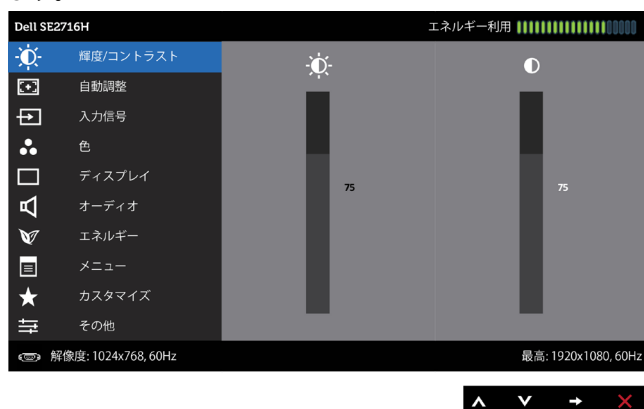
メニューとサブメニュー

説明



Brightness/ Contrast (輝度/ コントラスト)

このメニューを使用して、輝度/コントラスト調整をアクティブにします。



Brightness (輝度)

輝度はバックライトの明るさを調整します(最小0、最大100)。

▲ ボタンを押して、輝度を上げます。

▼ ボタンを押して、輝度を下げます。

注意: ダイナミックコントラストがオンになると、輝度の手動調整が無効になります。

Contrast (コントラスト)

輝度を最初に調整し、次にさらに調整が必要な場合にのみ、コントラストを調整します。

▲ ボタンを押してコントラストを増加させ、▼ ボタンを押してコントラストを下げます(0から100まで)。

コントラストはモニターの明るい部分と暗い部分との明暗の差を調整します。

アイコン	メニューとサブメニュー	説明
------	-------------	----



Auto Adjust (自動調整)

コンピュータが起動時にモニターを認識できない場合でも、自動調整機能では特定のセットアップで使用するためのディスプレイ設定を最適化します。

自動調整機能を使用後、ディスプレイからピクセルクロックとフェーズコントロールを使用して、モニターをさらに調整できます。



注意: ほとんどの場合、自動調整はお使いの構成で最適な画像を生成します。

注意: 自動調整機能オプションは、モニターがVGAケーブルを使用して接続されている場合にのみ利用できます。



Input Source (入力ソース)

モニターに接続された異なるビデオ入力を選択するには、入力ソースメニューを使用します。



自動選択

→ を使用して [自動選択] を選択すると、モニターは利用可能な入力ソースをスキャンします。

VGA

アナログ (VGA) コネクターを使用している場合は、VGA入力を選択します。✔ を押して、VGA入力ソースを選択します。

HDMI(MHL) 1

HDMI (MHL) 1コネクターを使用している場合は、HDMI入力を選択します。✔ を押して、HDMI (MHL) 1入力ソースを選択します。

HDMI(MHL) 2

HDMI (MHL) 2コネクターを使用している場合は、HDMI入力を選択します。✔ を押して、HDMI (MHL) 2入力ソースを選択します。



Color (色)

色設定モードを調整するには[カラー]メニューを使用します。



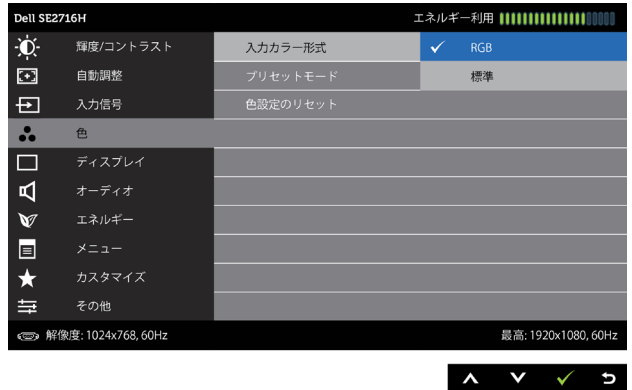
Input Color Format (入力カラー形式)

ビデオ入力モードを以下に設定可能です。

RGB: モニターがHDMIケーブルを使用してコンピューター(またはDVDプレイヤー)に接続されている場合や、MHLケーブルを使用してMHLデバイスに接続されている場合にはこのオプションを選択します。

YPbPr: モニターがHDMIケーブルを使用してYPbPr経由でDVDプレイヤーと接続されている場合や、MHLケーブルを使用してYPbPr経由でMHLデバイスに接続されている場合にはこのオプションを選択します。

または、DVD(またはMHLデバイス)のカラー出力設定がRGBではない場合。



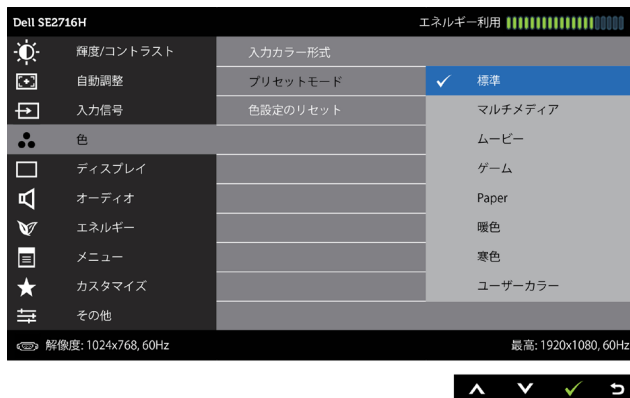
アイコン	メニューとサブメニュー	説明
------	-------------	----

Preset Mode (プリセットモード)

プリセットモードを選択すると、一覧から、標準、マルチメディア、映画、ゲーム、紙、ウォーム、クール、カスタムカラーを選択できます。

- **Standard (標準)**：デフォルトのカラー設定です。これはデフォルトのプリセットモードです。
- **Multimedia (マルチメディア)**：マルチメディアアプリケーションに最適です。
- **Movie (動画)**：映画に最適です。
- **Game (ゲーム)**：ほとんどのゲームアプリケーションに最適です。
- **Paper**：テキストを表示するのに最適な輝度と鮮明度の設定をロードします。色付き画像に影響を及ぼすことなく、紙媒体をシミュレートするために、テキストと背景を融合します。RGB入力形式のみに利用できます。
- **Warm (ウォーム)**：色温度を上げます。画面は赤/黄色の色合いを持つ暖かい表示になります。
- **Cool (クール)**：色温度を下げます。画面は青の色合いを持つ涼しい表示になります。
- **Custom Color (カスタムカラー)**：手動でカラー設定を調整することができます。

▲と▼ボタンを押して、赤、緑、青の値を調整し、独自のプリセットカラーモードを作成します。



Reset Color Settings (色設定のリセット)

モニターの色設定を工場出荷時のデフォルトにリセットします。



Display (ディスプレイ)

画像を調整するには、ディスプレイを使用します。



Aspect Ratio (アスペクト比)

画像比をワイド16:9、4:3、または5:4に調整します。

Horizontal Position (水平位置)

▲ または ▼ を使って画像を左または右に調整します。最小は「0」(-)です。最大は「100」(+)です。

Vertical Position (垂直位置)

▲ または ▼ を使って画像を上または下に調整します。最小は「0」(-)です。最大は「100」(+)です。

注意: 横位置および縦位置の調整は"VGA"入力のみで利用可能。

Sharpness (シャープネス)

画像をシャープまたはソフトにします。

▲ または ▼ を使ってシャープネスを「0」～「100」の範囲で調整します。

Pixel Clock (ピクセルクロック)

フェーズとピクセルクロック調整で、モニターを好みに合わせて調整できます。

▲ と ▼ ボタンを使用して、最高の画像品質に調整できます。

Phase (フェーズ)

フェーズ調整を使用して満足な結果が得られないときは、ピクセルクロック(粗い)調整を使用し、その後にフェーズ(細かい)をもう一度使用します。

注意: ピクセルクロックとフェーズ調整は、モニターがVGAケーブルを使用して接続されている場合のみ利用できます。

動的コントラスト

コントラストレベルを高くて、よりシャープで詳細な画質を表示します。

→ ボタンを押して[ダイナミックコントラスト]の「オン」または「オフ」を選択します。

注意: ゲームモードとムービーモードを選択する場合、ダイナミックコントラストではコントラストが高くなります。

応答時間

応答時間は、標準または高速に設定することが可能です。

アイコン	メニューとサブメニュー	説明
------	-------------	----

Reset Display Settings (ディスプレイ設定のリセット)

ディスプレイ設定を工場出荷時のデフォルトに戻します。



オーディオ



音量調整

オーディオソースの音量レベルを設定できます。

▲または▼を使用して、音量レベルを'0'から'100'まで調整します。

オーディオソース

オーディオソースはPCオーディオまたはHDMI (MHL) に設定することが可能です。

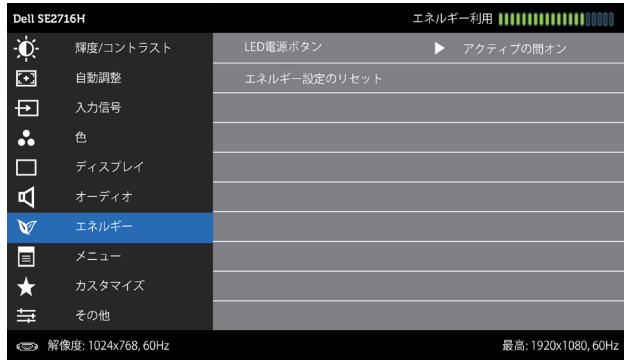
注意: オーディオソースオプションは、HDMI (MHL) 1/HDMI (MHL)2コネクタを使用時のみ利用できます。

オーディオ設定のリセット

このオプションを選択し、デフォルトのオーディオ設定に戻します。



Energy (エネルギー)


**Power Button
LED (電源ボタン
LED)**

エネルギーを節約するために、電源ランプの状態を設定できます。

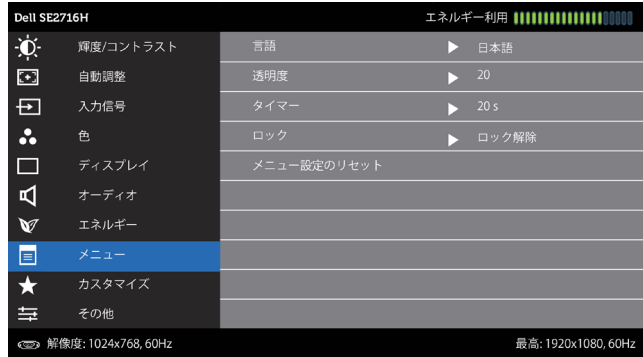
**Reset Energy
Settings (エネル
ギー設定のリセ
ット)**

このオプションを選択し、デフォルトのエネルギー設定に戻します。



Menu (メニュー)

OSDの言語、メニューの画面表示時間などOSD設定を調整するには、このオプションを選択します。



Language (言語)

8言語から1つをOSD表示に設定します。
(英語、スペイン語、フランス語、ドイツ語、ポルトガル語(ブラジル)、ロシア語、簡体中国語、日本語)。

Transparency (透過性)

このオプションを選択して、とを使用してメニューの透明度を変更します(最小値 0/最大値 100)。

Timer (タイマー)

OSD継続時間: ボタンを押したあと、OSDがアクティブなままの時間を設定します。

と ボタンを使用して、スライダーを1秒刻みで5-60秒で調整します。

Lock (ロック)

ユーザーが調整にアクセスすることを制御します。ロックが選択されている場合、ユーザーは調整できません。すべてのボタンがロックされます。

注意: ロック機能 - ソフトロック (OSDメニューから) またはハードロック (「Exit」ボタンを10秒押ししてそのままにします)

ロック解除機能 - ハードロックのみ (「Exit」ボタンを10秒押ししてそのままにします)

Reset Menu Settings (メニュー設定のリセット)

メニュー設定を工場出荷時のデフォルトに戻します。


Personalize (個人設定)

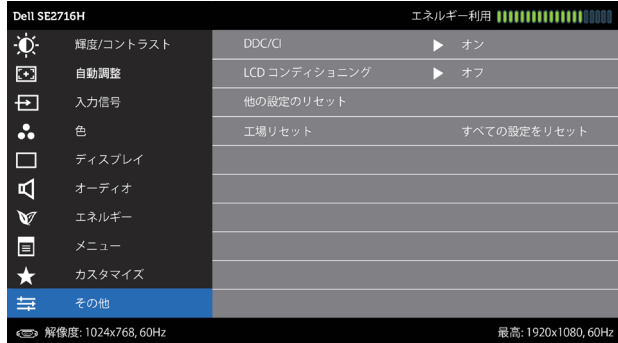
プリセットモード、輝度/コントラスト、自動調整、入力ソース、アスペクト比または音量調整から選択し、ショートカットキーとして設定できます。


Reset Personalization (個人設定のリセット)

ショートカットキーを工場出荷時のデフォルトに戻します。



Other (その他)



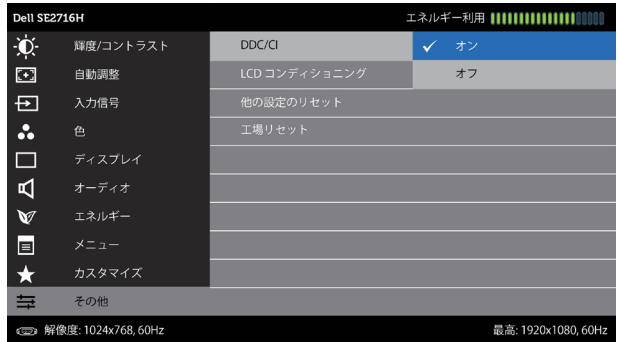
DDC/CI、LCDコンディショニングなどOSD設定を調整するには、このオプションを選択します。

DDC/CI

DDC/CI(ディスプレイデータチャンネル/コマンドインターフェース)は、コンピューターのソフトウェアを使ってモニター設定の調整が可能です。

無効を選択して、この機能をオフにします。

最高のユーザーエクスペリエンスと最適なモニターパフォーマンスのために、この機能を有効にします。



アイコン	メニューとサブメニュー	説明
------	-------------	----

LCD
Conditioning
(LCDコンディショニング)

残像の軽微な問題を低減することを助けます。残像の程度によっては、プログラムの実行に時間がかかる場合があります。**有効**を選択して、プロセスを開始します。



Reset Other
Settings (その他の
設定のリセット)

DDC/CIのようなその他の設定を工場出荷時のデフォルトに戻します。

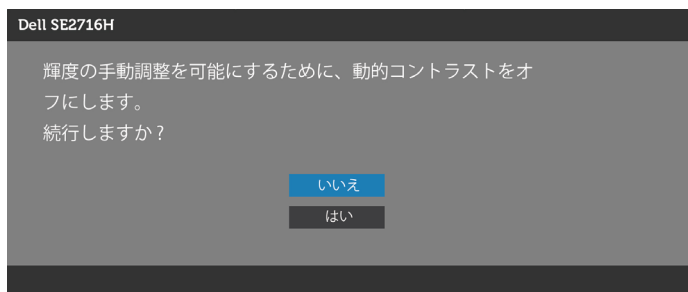
Factory Reset (
工場リセット)

すべてのOSD設定を工場出荷時のデフォルトに戻します。

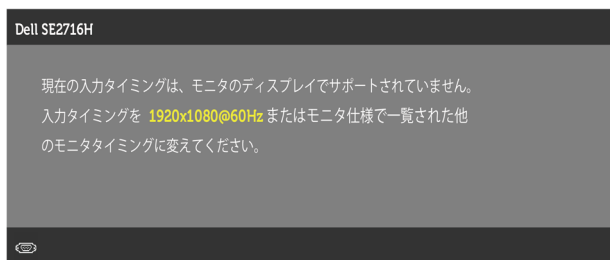
注意: このモニターには、LED経年劣化を補正するための自動輝度較正機能が内蔵されています。

OSD警告メッセージ

動的コントラストが有効に設定されている場合は(ゲームまたはムービーなどのプリセットモード)、手動による輝度調整は無効になります。

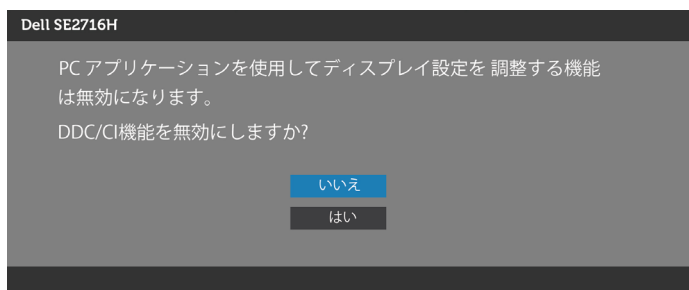


モニターが特定の解像度モードをサポートしない場合、次のメッセージが表示されます。



これはモニターがコンピューターから受け取る信号を同期できないことを意味しています。このモニターが使用できる水平および垂直周波数幅については、モニターの仕様を参照してください。推奨モードは1920 x 1080です。

DDC/CI機能を無効にする前に、次のメッセージが表示されます。

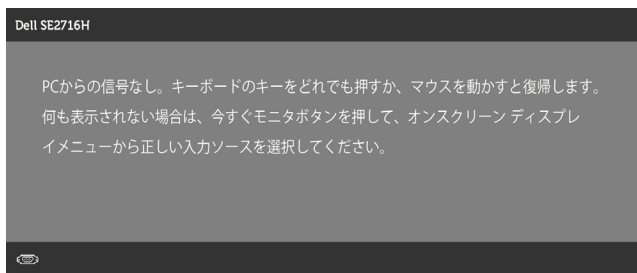


モニターが省電力モードに入る際には、次のメッセージが表示されます。

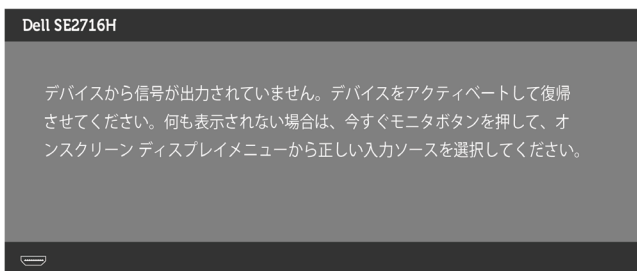


OSDアクセスするには、コンピューターをアクティブにし、モニターを起動します。電源ボタン以外の任意のボタンを押すと、選択した入力に応じて、次のいずれかのメッセージが表示されます。

VGA/HDMI (MHL) 1/HDMI (MHL) 2 入力



または



VGAまたはHDMI (MHL) 1またはHDMI (MHL) 2入力を選択されているが相当するケーブルが接続されていない場合、以下のような浮動ダイアログボックスが表示されます。



または



または



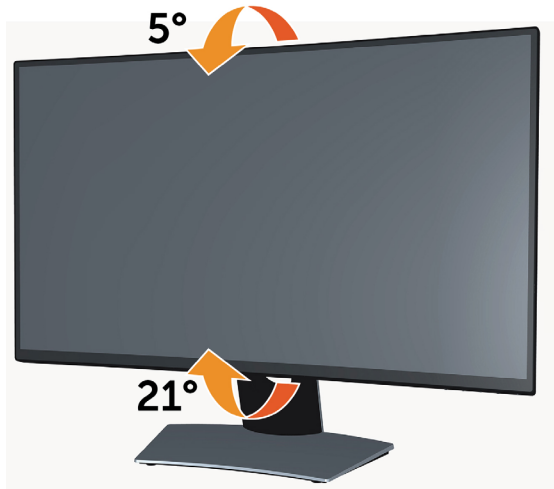
詳細については、[トラブルシューティング](#)を参照してください。

傾斜を使用する

注意: これは、スタンド付きモニターに適用されます。他のスタンドをご購入された場合、セットアップ指示についてはそれぞれのスタンドセットアップガイドを参照してください。

傾斜

モニターにスタンドを取り付けたまま、モニタを最も快適な角度に傾斜させたり、向きを変えたりすることができます。



注意: 工場からモニターが出荷される際には、スタンドは取り外されています。

トラブルシューティング

△ **警告:** このセクションの手順を始める前に、[安全上の注意](#)に従って下さい。

セルフテスト

モニターには、お使いのモニターが正しく機能しているかをチェックできるセルフテスト機能があります。モニターとコンピューターが正しく接続されているにもかかわらず、モニター画面が黒いままの場合は、次のステップを実行し、モニターのセルフテストを実行してください。

- 1 コンピューターとモニターの電源を切ります。
- 2 コンピューターの裏側からディスプレイケーブルを抜きます。セルフテスト操作を正常に行うために、コンピューターの背面からデジタルとアナログケーブルを取り外します。
- 3 モニターの電源を入れます。

モニターがビデオ信号を感知せず、正しく動作する場合には、（黒色の背景に）フローティングダイアログボックスが画面に表示されるはずですが、セルフテストモードの間、電源LEDは白のまま点灯します。また、選択した入力に応じて、下に示されるダイアログボックスの1つが、画面をスクロールし続けます。



または



または




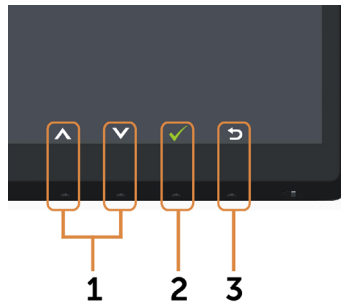
- 4 このボックスは、ビデオケーブルが切断または破損した場合にも、通常のシステム操作時に表示されます。
- 5 モニターの電源を切り、ビデオケーブルを再接続します。次に、コンピューターとモニターの両方の電源を入れます。

先の手順を使用しても、モニター画面がブランクのままの場合、モニターは正しく機能していますので、ビデオコントローラーとコンピューターをチェックして下さい。

ビルトイン診断

モニターはビルトイン診断ツールを持ち、画面の異常がモニターに内在する問題なのか、コンピューターやビデオカードの問題なのかを同定することに役立ちます。

 **注意:** ビデオケーブルが抜かれ、モニターはセルフテストモードの場合のみ、ビルトイン診断を実行することができます。



ビルトイン診断を実行するには：

- 1 画面が汚れていないことを確認します（画面の表面に埃がないこと）。
- 2 コンピューターまたはモニターの裏側からビデオケーブルを抜きます。モニターはセルフテストモードに入ります。
- 3 フロントパネルのボタン1とボタン4を同時に2秒間押し続けます。灰色の画面が表示されます。
- 4 注意して画面の異常を調べます。
- 5 フロントパネルのボタン4をもう一度押します。画面の色が赤に変わります。

6 ディスプレイに異常がないか調べます。

7 ステップ5と6を繰り返し、緑、青、黒、白の画面で表示を調査します。

白い画面が現れると、テストは完了です。終了するには、もう一度ボタン 4 を押します。

ビルトイン診断ツールを使用して画面の異常を検出できない場合、モニターは正常に機能しています。ビデオカードとコンピューターを調べて下さい。

共通の問題

次の表の内容は、起こりうるモニターの問題と、可能な解決策についての一般情報です。

一般的な症状	何が発生するか	可能な解決策
ビデオなし/電源 LEDがオフ	映像なし	<ul style="list-style-type: none">• モニターとコンピューターを繋ぐビデオケーブルが正しく、確実に接続されていることを確認します。• 他の電子機器を使用して、電源コンセントが正しく機能していることを確認します。• 電源ボタンが押し込まれていないか確認します。• 入力ソースメニューで、正しい入力ソースが選択されているか確認します。
ビデオなし/電源 LEDがオン	画像または輝度がない	<ul style="list-style-type: none">• OSDから輝度とコントラストコントロールを上げます。• モニターのセルフテスト機能チェックを実行します。• ビデオケーブルコネクターのピンが曲がったり、折れていないか確認します。• ビルトイン診断を実行します。• 入力ソースメニューで、正しい入力ソースが選択されているか確認します。
焦点がおかしい	画像がぼやけたり霞んだり、ゴーストが発生している	<ul style="list-style-type: none">• OSDによって自動調整を実行します。• OSDによって、位相とピクセルクロック制御を調整してください。• ビデオ延長ケーブルを取り除きます。• モニターを工場出荷時設定にリセットします。• ビデオ解像度を正しいアスペクト比に変更します。
揺れ/不安定なビデオ	画像が波打ったり、微妙にぶれる	<ul style="list-style-type: none">• OSDによって自動調整を実行します。• OSDによって、位相とピクセルクロック制御を調整してください。• モニターを工場出荷時設定にリセットします。• 環境要因をチェックします。• モニターを移動させ、別の部屋でテストします。

一般的な症状	何が発生するか	可能な解決策
ピクセル抜け	LCDスクリーンにスポットがあります。	<ul style="list-style-type: none"> 電源を入れ直します。 ピクセルが永久的に抜けているのは、LCD技術では当然起こりうる欠陥です。 Dellモニター品質とピクセルポリシーについての詳細は、Dellサポートサイト www.dell.com/support/monitors を参照してください。
常時点灯ピクセル	LCDスクリーンに明るいスポットがあります。	<ul style="list-style-type: none"> 電源を入れ直します。 ピクセルが永久的に抜けているのは、LCD技術では当然起こりうる欠陥です。 Dellモニター品質とピクセルポリシーについての詳細は、Dellサポートサイト www.dell.com/support/monitors を参照してください。
輝度の問題	画像が暗すぎるまたは明るすぎる	<ul style="list-style-type: none"> モニターを工場出荷時設定にリセットします。 OSDを使用して自動調整します。 OSDを使用して、輝度およびコントラストを調整します。
幾何学的歪み	画面が正しく中央にない	<ul style="list-style-type: none"> モニターを工場出荷時設定にリセットします。 OSDを使用して自動調整します。 OSDを使用して水平および垂直位置を調整します。 <p>注意: HDMI (MHL) 1/HDMI (MHL) 2の使用時は、位置調整は利用できません。</p>
水平/垂直ライン	画面に1本以上の線があります。	<ul style="list-style-type: none"> モニターを工場出荷時設定にリセットします。 OSDによって自動調整を実行します。 OSDで、フェーズとピクセルクロックコントロールを調整します。 モニター自己テスト機能チェックを行い、これらの線が自己テスト・モードでも入るかどうかを確認します。 ビデオケーブルコネクタに曲がったり破損したピンがないか、チェックします。 ビルトイン診断を実行します。 <p>注意: HDMI (MHL) 1/HDMI (MHL) 2を使用しているとき、ピクセルクロックとフェーズ調整はご利用いただけません</p>

一般的な症状	何が発生するか	可能な解決策
同期の問題	画面が乱雑または乱れている	<ul style="list-style-type: none"> • モニターを工場出荷時設定にリセットします。 • OSDによって自動調整を実行します。 • OSDで、フェーズとピクセルクロックコントロールを調整します。 • モニター自己テスト機能チェックを行い、スクランブル状態のスクリーンが自己テスト・モードでも入るかどうかを確認します。 • ビデオケーブルコネクタに曲がったり破損したピンがないか、チェックします。 • コンピューターをセーフモードで再起動します。
安全に関連する問題	煙または火花が見える	<ul style="list-style-type: none"> • 問題解決のあらゆる手段を実行してはいけません。 • Dellにすぐにご連絡ください。
時々とぎれる問題	モニターのオン/オフの不調	<ul style="list-style-type: none"> • モニターとコンピューターを繋ぐビデオケーブルが正しく、確実に接続されていることを確認します。 • モニターを工場出荷時設定にリセットします。 • モニターのセルフテスト機能チェックを実行し、とぎれる問題がセルフテストモードでも現れるかどうか確かめます。
色が出ない	画像に色が無い	<ul style="list-style-type: none"> • モニターのセルフテストを実行します。 • モニターとコンピューターを繋ぐビデオケーブルが正しく、確実に接続されていることを確認します。 • ビデオケーブルコネクタに曲がったり破損したピンがないか、チェックします。
色がおかしい	画像の色が良くない	<ul style="list-style-type: none"> • アプリケーションに応じて、カラーメニューOSDでプリセットモードの設定を変更します。 • カスタムからR/G/Bの値を調整します。カラーメニューOSDの色。 • 拡張設定OSDで、入力色形式をPC RGBまたはYPbPrに変更します。 • ビルトイン診断を実行します。
静止画像を長時間モニターに映していたことによる画像の残像	静止画像の薄い影が画面上に表示される	<ul style="list-style-type: none"> • 電源管理機能を使用して、使用しないときはモニターを常に切るようにします（詳細については電源管理モードを参照してください）。 • 代わりに、動的に変化するスクリーンセーバーを使用して下さい。

製品固有の問題

固有の症状	何が発生するか	可能な解決策
画面の画像が小さすぎる	画像は画面の中央にあるが、全表示エリアを占めていない。	<ul style="list-style-type: none"> • 画像OSDメニューから、アスペクト比を確認します。 • モニターを工場出荷時設定にリセットします。

固有の症状	何が発生するか	可能な解決策
前面パネルのボタンを使用してモニターを調整できない	OSDが画面に表示されない	<ul style="list-style-type: none"> ・モニターの電源をオフにして、電源コードを外し、もう一度コードを差し、電源を入れます。 ・OSDがロックされているかどうか、チェックします。ロックされている場合、電源ボタンを10秒間押し続けロック解除します。メニューロックを参照してください。
ユーザーコントロールが押されると、入力信号なし	画像なし、LEDライトは白。	<ul style="list-style-type: none"> ・信号ソースを確認します。マウスを動かす、またはキーボードのキーを押して、コンピューターが省電源モードにないかを確認します。 ・信号ケーブルが正しく差し込まれているかどうかをチェックします。必要に応じて、信号ケーブルを差し込み直してください。 ・コンピューターまたはビデオプレーヤーを再起動します。
画像が全画面に表示されない。	画像が画面の縦横すべてを使って表示されない	<ul style="list-style-type: none"> ・DVDの異なるビデオ形式により、モニタが全画面で表示できないことがあります。 ・ビルトイン診断を実行します。

モバイル高品位リンク(MHL)に特有の問題

固有の症状	何が発生するか	可能な解決策
MHLインターフェイスが動作しない	モニターにMHLデバイス画像が表示できない	<ul style="list-style-type: none"> ・MHLケーブルとMHLデバイスがMHL認証されたものであることを確認してください。 ・MHLデバイスがオンになっていることを確認します。 ・MHLデバイスがスタンバイモードになっていないことを確認します。 ・実際に接続しているMHLケーブルが、OSDメニューで選択された入力ソースHDMI (MHL) 1/HDMI (MHL) 2と同じか確認します。 ・MHLデバイスによってはリカバリに時間かかるものがあるため、MHLケーブル接続後は30秒お待ちください。

スピーカー固有の問題

固有の症状	何が発生するか	可能な解決策
スピーカーから音が出ない	音が聞こえない	<ul style="list-style-type: none"> ・モニターの電源を切って電源コードを抜き、もう一度差した後でモニターの電源を入れます。 ・オーディオケーブル接続部分が、コンピューターのオーディオライン出力ポートに正しく接続されているか確認します。 ・ヘッドフォンポートからヘッドフォンジャックを抜きます。 ・モニターを工場出荷時の設定にリセットします。

安全上の注意

光沢仕上げのベゼルの表示に関してはディスプレイの配置を考慮する必要があります。ベゼルは周辺光と明るい面からの反射を妨げる原因となります。

⚠ 危険:この説明書で指定された以外の制御、調整、手順の使用は、感電、電気事故、機械的な事故に繋がる可能性があります。

安全指示については安全、環境、および規制情報 (SERI) をご覧ください。

FCC通知 (米国のみ) およびその他規制情報

FCC通知およびその他の規制情報については、規制コンプライアンスWebサイトwww.dell.com/regulatory_complianceを参照してください。

Dellに連絡

注意:有効なインターネット接続がない場合には、連絡情報は仕入請求書、荷造伝票、請求書、Dell製品カタログに掲載されています。

Dellでは複数のオンライン、電話によるサポートとサービスオプションを提供しています。国や製品によってサービスが利用できるかどうか異なります。また、一部のサービスはお住まいの地域では提供していないことがあります。

オンラインモニターサポートのコンテンツを表示するには、:

www.dell.com/support/monitors にアクセスします。

Dellの販売、技術サポート、または顧客サービス問題に連絡するには:

- 1 www.dell.com/support にアクセスします。
- 2 ページの左上に表示されている国/地域の選択ドロップダウンメニューから、選択した国または地域が正しいか確認します。
- 3 国ドロップダウンメニューの隣にあるお問い合わせをクリックします。
- 4 必要に応じて、適切なサービスまたはサポートリンクを選択します。
- 5 ご自分に合った Dell への連絡方法を選択します。

モニタのセットアップ

画面解像度を1920x1080(最大)に設定する

最高のパフォーマンスのために、次のステップを実行して画面解像度を1920x1080ピクセルに設定します。

Windows Vista、Windows 7、Windows 8、Windows 8.1 では:

- 1 Windows 8またはWindows 8.1の場合のみ、デスクトップタイルを選択してクラシックデスクトップ表示に切り換えます。
- 2 ディスプレイの設定の変更をクリックします。
- 3 画面の解像度のドロップダウンリストをクリックし、1920x1080を選択します。
- 4 OKをクリックします。


Windows 10 では:

- 1 デスクトップで右クリックし、「ディスプレイの設定をする」をクリックします。
- 2 **ディスプレイの詳細設定**をクリックします。
- 3 画面解像度のドロップダウンリストをクリックし、1920x1080を選択します。
- 4 **適用**をクリックします。

オプションに推奨されている解像度が表示されない場合、グラフィックドライバーを更新する必要がある場合があります。使用しているコンピューターシステムを最もよく表しているものを以下から選択し、与えられた手順を実行してください。

Dellコンピューター

- 1 www.dell.com/supportに行き、サービスタグを入力し、グラフィックカード用の最新ドライバをダウンロードします。
- 2 グラフィックスアダプターにドライバをインストールした後、解像度を再び**1920 x 1080**に設定してみてください。

 **注意:** 解像度を1920 x 1080に設定できない場合、Dellに連絡しこれらの解像度をサポートするグラフィックスアダプターについてお尋ねください。


Dell-以外のコンピューター

Windows Vista、Windows 7、Windows 8、Windows 8.1 では:

- 1 Windows 8またはWindows 8.1の場合のみ、デスクトップタイルを選択してクラシックデスクトップ表示に切り換えます。
- 2 デスクトップを右クリックし、個人用設定をクリックします。
- 3 ディスプレイの設定の変更をクリックします。
- 4 詳細設定をクリックします。
- 5 ウィンドウの上部にある説明で、お使いのビデオカードメーカー (NVIDIA、ATI、Intelなど) を識別します。
- 6 グラフィックカード製造業者のWebサイトへ行き、更新されたドライバを見つけます (例えば<http://www.ATI.com>または<http://www.NVIDIA.com>)。
- 7 グラフィックスアダプターにドライバをインストールした後、解像度を再び1920x1080に設定してみてください。

Windows 10 では:

- 1 デスクトップで右クリックし、「ディスプレイの設定をする」をクリックします。
- 2 **ディスプレイの詳細設定**をクリックします。
- 3 **ディスプレイアダプターのプロパティ**をクリックします。
- 4 ウィンドウの上部にある説明で、お使いのビデオカードメーカー (NVIDIA、ATI、Intelなど) を識別します。
- 5 グラフィックカード製造業者のWebサイトへ行き、更新されたドライバを見つけます (例えば<http://www.ATI.com>または<http://www.NVIDIA.com>)。
- 6 グラフィックスアダプターにドライバをインストールした後、解像度を再び1920x1080に設定してみてください。

 **注意:** 推奨された解像度を設定できない場合、コンピューターの製造元にお問い合わせになるか、ビデオ解像度をサポートするグラフィックスアダプタの購入を考慮してください。

お手入れのガイドライン

モニターの清掃

⚠ 危険：モニターを清掃する前に、コンセントからモニターの電源ケーブルを抜いてください。

⚠ 警告：モニターを清掃する前に、**安全上の注意**を読んで、これに従ってください。

モニターの開梱、清掃、取り扱いの際には、次の一覧にある手順に従うことを推奨します。

- 静電防止スクリーンを清掃するには、柔らかい清潔な布を水でわずかに湿らせます。できれば、スクリーン清掃専用のティッシュまたは静電防止コーティング専用の洗剤を使用して下さい。ベンジン、シンナー、アンモニア、研磨クリーナー、圧縮空気は使用しないで下さい。
- モニターの清掃には、わずかに湿らせた柔らかい布を使用します。乳状の薄膜がモニター表面に残ることがあるので、洗剤は使用しないでください。
- モニターを開梱する際、白い粉があった場合には、布で拭いて下さい。
- モニターは注意して取り扱って下さい。黒い色のモニターは引っ掻くと白い擦り傷が残り、明るい色のモニターより目立ちます。
- モニターの最高画像品質を維持するために、動的に変化するスクリーンセーバーを使用し、使用しないときにはモニターの電源を切ってください。